2026　年度 授業計画(シラバス)

| 学　科 | 理学療法士学科 | | 科目区分 | 基礎分野 | 授業の方法 | 講義演習 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | ICT医療統計学 | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 30　(2)　時間(単位) |
| 対象学年 | 1年 | | 学期及び曜時限 | 後期　火曜2限 | 教室名 | PCルーム |
| 担当教員 | BSC | 実務経験とその関連資格 | ITパスポート、基本情報技術者試験に合格 | | | |

《授業科目における学習内容》

この授業では、学生がコンピュータの基本操作に習熟することはもちろん、Officeソフトの利用だけにとどまらず、現代社会において必須となるデータ分析やAI技術の基礎を学ぶことを重視します。データの活用方法を学び、実践を通じて在学中および卒業後の情報処理スキル向上を図ります。

《成績評価の方法と基準》

出席(20%)、平常点(10%)、課題・小テスト点(70%)

《使用教材(教科書)及び参考図書》

「コンピュータキャリアトレーニング」※イーラーニングコンテンツ
対面授業、オンライン(ライブ)、オンデマンドの3つの授業形態(ハイフレックス型授業)で、テキストや動画を見ながら学生が独学できるようデザインされた教材です。

《授業外における学習方法》

自宅等にインターネットにつながったPCがあれば、イーラーニングで自習できます。
欠席した場合は次の週までに課題を済ませて下さい。

《履修に当たっての留意点》

出席することが一番重要ですので、欠席しないように受講してください。

| 授業の方法 | | 内容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|---|---|---|---|---|---|
| 第1回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 講座を受講する意義を理解し、IT・DXリテラシーを知り、情報を正しく活用できる | CCT入門<br>IT・DXリテラシー | イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | CCT講座を受講する意義、IT・DXリテラシーを学ぶ、IT・DXリテラシー理解度テストの実施 | | |
| 第2回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | Windowsの基本操作ができる | CCT入門<br>PC基本操作 | イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | マウス・タッチパッド操作/ファイルの管理/タイピングの基礎/キーボードの機能(ショートカット等) | | |
| 第3回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 生成AIを正しく活用できる | CCT入門<br>生成AI入門 | イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | プロンプト練習/使用する際の注意点/滋慶学園ガイドラインに沿ったAI活用/プロンプト活用/Canva登録 | | |
| 第4回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | スライド作成の基本的な操作ができる | PowerPointダイジェスト | イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | プレゼンテーションの作成手順/テーマとバリエーション/スライド/プレースホルダー/画像の挿入/テキストボックス/図形作成/ワードアート/画面切り替え効果の設定/アニメーション効果/ノートの作成/スライドショー | | |
| 第5回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 企業や施設が求める表計算ソフトの基本操作ができる | Excel基礎1<br>基本操作 | イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | オートフィル/数式の作成/SUM関数/グラフ作成/印刷 | | |

| 授業の方法 | | 内　　容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|---|---|---|---|---|---|
| 第6回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 関数を駆使した資料を作成できる | Excel基礎2<br>数式と関数基礎 | イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 割合を求める/相対参照と絶対参照/AVERAGE関数/COUNTIF関数/シートの操作 | | |
| 第7回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | グラフを駆使した資料を作成できる | Excel基礎3<br>グラフ基礎 | イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 目的に応じたグラフ作成/グラフのレイアウト/行や列の挿入/グラフの編集 | | |
| 第8回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | データベース機能を理解し活用できる | Excel応用A<br>データーベース | イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | データベースとは/データを並べ替える/フィルター/ウィンドウ枠の固定/大きな表を効率よく印刷する | | |
| 第9回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | データの特徴を数値化できる （平均、分散、標準偏差） | 初級データサイエンス（統計編）1 | イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 平均と分散の意味と求め方/標準偏差の意味と求め方 | | |
| 第10回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | データの特徴を視覚化できる1 （基本統計量を求める、ヒストグラムの作成） | 初級データサイエンス（統計編）2 | イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 分析ツールの使用/基本統計量の算出/度数分布表（ヒストグラム）の作成/標準偏差のグラフ図示 | | |
| 第11回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | データの特徴を視覚化できる2 （散布図、相関係数を求める） | 初級データサイエンス（統計編）3 | イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 散布図を作成し、相関関係の有無を視覚的に表す/相関係数の算出 | | |
| 第12回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 統計的検定を実施できる | 初級データサイエンス（統計編）4 | イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 母集団・標本・抽出について/統計的検定の手法について/t検定（一対の標本、等分散、不等分散）/F検定 | | |
| 第13回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 統計的手法を選択して利用できる | 初級データサイエンス（統計編）5 | イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | データの分類（質的データ、量的データ）、検定後の結論の書き方、統計手法の復習 | | |
| 第14回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | データを読み解くための基本的な知識を身につけて、適正かつ有効に活用できる | データリテラシー | イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 平均/中央値/最頻値/外れ値/欠損値/異常値/データの分類/相関/因果関係/疑似相関/不適切なグラフ表現 | | |
| 第15回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 身近なAIを知り、適正かつ有効に活用できる | AIリテラシー | イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 社会でのAI活用事例/AIでできること・できないこと/画像認識体験/AIの欠点や問題点/人とAIとの協働 | | |